

# 地域と時を紡ぐ人々

連綿と受け継がれる地域の伝統や芸能、自然などを次代に継承する方々を、広報たかやまではシリーズで紹介していきます。

## 第七章

# 食害からミズバシヨウを守る

庄川町寺河戸てらかわどにある県天然記念物「山中峠のミズバシヨウ群落」で6月、シカやイノシシからの食害を防ぐため電気柵が設置されました。冬場に取り外していた柵を設置する作業で、地元町内会をはじめ、飛

騨森林管理署や岐阜大学、市が連携して取り組んだものです。

約1畝ある湿原にミズバシヨウが群生していましたが、平成21年ころに獣害が深刻化。同大学が行った調査では地上部分がほぼ全滅となっていました。

―地元の大事な宝を何とかしなければ― 群落の回復を図るため、平成23年から前出の4団体が湿原の周囲を電気柵で取り囲んだところ、群生地の一部で回復の兆しがみえてきました。

寺川戸町内会長の桑田義一くわたぎいちさん（59）は「電気柵の設置も4年になりミズバシヨウの数も着実に増えてきた。昔のようにミズバシヨウが咲き誇る湿原に戻りたい」と話していました。

なお、清見町夏廐なつまの小島峠にあるミズバシヨウ群落でも獣害被害が深刻で、地域のみなさんが電気柵を設置して保護活動に取り組みれています。



群生地を取り囲むように電気柵を設置するみなさん（庄川町寺河戸）



平成21年のようす



今年のようす

### 問合せ先

庄川支所  
☎05769-2-2211  
清見支所 ☎68-2211

## 広報 市長だより

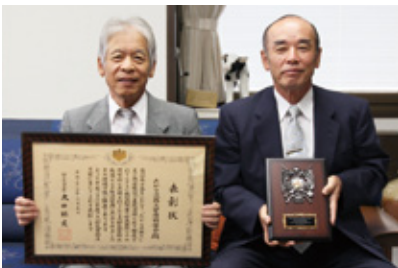
31

# たから流路工

高山市長 國島芳明くにしまよしあき

奥飛騨温泉郷を流れる蒲田川沿いに「たから流路工」と呼ばれる砂防施設があります。昭和54年に当地を襲った洞谷豪雨災害をはじめ、度重なる土砂災害の発生を受け国が整備したもので、地元の自然石を利用した護岸設置や川と親しめる散策路などの親水空間が設けられました。平成10年の流路工完成に伴い地元の奥飛騨温泉郷桝尾、村上、高原川町内会今見区などの皆様は「たから流路工管理協議会」を設立。以来今日に至るまで支障木の伐採や除草など砂防施設の維持管理のみならず、花の植栽やイルミネーションによる名所づくり、地元小学生への河川・防災教育など、観光や教育などの他分野にも活かす活動を、世代をこえて地域ぐるみで取り組まれました。

この功績が認められ同協議会は先月、国土交通大臣表彰を受賞されました。お祝い申し上げますとともに、地域の皆様の今までのご尽力に深く敬意を表します。



受賞報告で市役所を訪れた同協議会の沖本善邦さん⑤と松井一夫さん⑥

今月からはホタルも飛び交い、下旬には花火大会もあります。ぜひこの機会に「たから流路工」にお出かけたいただき、地域の皆様のまちづくりに思いを馳せてみませんか。

●市民と市長の面談日 7月18日(金) 午前9時～正午 ※事前にご予約ください

なお、平日の午前7時～8時30分も市役所市長室で面談を実施しています(行事や出張の際は除きます)

問合せ | 秘書課 ☎35-3130

2014.7.1